

サンビオティック農業通信

<http://www.sunbiotic.com>

● 日本一のイチゴの産地 サンビオティックなとちおとめ増加中！

栃木県は、言わずと知れたイチゴの「とちおとめ」が日本一の産地ですね。2月初旬の一週間ほどサンビオティックの普及のため産地を回ってきましたので報告しておきます。

栃木の方は、優しくて素朴でいいですね！私は栃木の方が、ますます好きになりました。昨年からはまったサンビオティックの試験の結果を聞いて回りましたが、全般的に「あれは良かったね」という言葉をたくさんもらいました！残念ながら、センチウ対策試験では手遅れだったため効き目を実感できなかった農家さんもいらっしゃいましたが、育苗期の菌力アップ、収穫期の菌力アップ+糖力アップで、私たちが感心するほどうまく使いこなしていらっしゃる農家さんも結構いらっしゃいました。これからの普及がさらに加速しそうです。下に主な事例をご紹介します。

☀ 栃木でもたくさんの喜びの声をいただきました！

<使用状況と感想>

壬生地区S様、壬生地区K様

ナイアガラ方式の育苗にて子苗のトイ受けに菌力アップ100倍灌水(10日おき)

「育苗にいいですね！違いがはっきり分かりました！菌力アップでやると徒長しないで、**クラウン部の太いしっかりした苗**が取れたよ」とのコメントでした。発根がよく、リン酸が効いたせいかも知れませんが、苗が良かったので、本圃も根張りが良くて収穫も順調とのことでした。これからは楽しみですね。



<使用状況と感想>

鹿沼地区O様

本圃で原因不明の生育不良。よく見るとダニ？菌力アップ20 / 反を2回で回復！

「**ダニから回復したのはびっくりした！うれしかったなあ！**」と発声一番のコメント。ダニが死んだわけではなく、根張り・発根が旺盛になった結果の回復でしょう。ダメかな、というピンチのときに思い出してもらえたことがうれしかったですね！

<使用状況と感想>

鹿沼地区S様

育苗で失敗し、試しに菌力+糖力を使ってみごと回復！本圃でも菌力5 + 糖力5 灌水

「**菌力アップと糖力アップの組み合わせが良いんだよ！**」と教えてくれたのは地域でもリーダー的農家のSさん。「根張りが良いんだろうね、**玉の肥大が良いし疲れなし、根が張ってるから硬いよね。いいのがとれてるよ。**」葉は勢いがあり実はピカピカと光って硬い。ひとつ食べてさせてもらおうと、おおっ美味しい！！大きくても芯までしっかり実が詰まっっていて、糖度を計ってみると中心でも13度！甘みだけでないコクとうま味がありました。最高のイチゴですね！これはいい資材だよ、と誉めてもらいました。



<使用状況と感想>

壬生地区O様

育苗試験で結果良好。本圃で菌力5 + 糖力5 を灌水。成り疲れなし、大幅収量UP！

「育苗でよかったから本圃で使ってみたんですよ。」と案内もしていなかったのに菌力アップと糖力アップを本圃に導入。「**これのおかげで今年は収量がかなりいいですよ！**」とうれしい報告をしてくれました。全般的に今年は根張りが悪く、収量の低い農家さんが多い中、大幅な増収を達成して嬉しそうでした。



● 福田さんのミニトマト サンビオティックで灰色カビも寄せつけない！！

熊本県八代でミニトマト栽培に取り組んでいる福田さんは、昨年からサンビオティック資材を試験的に取り入れて効果を実感！いまは全面的にサンビオティック栽培を導入しています。先日圃場をおじゃましたら「**これはよかね！**」と笑顔で迎えてくれました。

ミニトマト栽培は、冬が勝負。重油代が高く、どこの産地もトマトの出荷が遅れています。福田さんは「**なんさま花の多かけん、取るとが大変バイ！（とにかく花が多いから、収穫が大変だよ！）**」と終始笑顔です。菌力アップ・糖力アップ・鈴成（すずなり）を使用していますが、発根がいいためか、葉のテリツヤが素晴らしく、美しく輝くルビーのような果実がびっしりなっていました。



こういう葉っぱなら灰色カビもつかないよね！（福田さん）



福田さんが、とくに驚いているのは、ほとんど農薬散布がいらなくなったということでした。「この資材を使ったら、今年ほとんど農薬はいらねえ。**灰色カビ病も葉カビ病も全然でないし、殺菌剤は定植から2回くらいしかかけてないんですよ。**」一般の農家さんは、この時期は週に2回も農薬散布する方もいるほど厄介な、葉カビ・灰色カビが、全然でないというのは確かにすごいことです。寒い中でも根が健全に働き、たくましい葉が展開した証拠です。特に葉の厚み・テリが出てくるのがサンビオティックの特徴。ワックス層の発達した葉には、カビやダニは繁殖しにくいようです。

樹勢があるので、光熱費も節約できているそうです。これから本番！サンビオでがんばってくださいね！

● 鹿児島桜島地区ピワハウス部会にサンビオティック全面導入！ピワが変わるぞ！



葉が変わる！勢いが違う！

以前ご紹介した桜島の有馬会長（鹿児島県農協果樹部会連合会理事）の地区ハウスピワ部会に全面的にサンビオティックを導入することが決定しました。有馬会長自身が自分の手で試して、サンビオティックでピワが変わるということ確信した、ということで部会全体で導入を取り組むことになりました。先日は、部会員を集めて説明会を実施し、桜島ピワのブランドアップにぜひ取り組もう！と皆さんやる気を見せていらっしゃいました。

ピワは、果樹の中でも繊細で栽培の技術で品質が左右する果物です。サンビオティックピワ栽培では、有機肥料の鈴成をたっぷりと施用しカルシウムとリン酸をしっかり効かせることを重点と考え、さらに栄養成長時の発根と生育を支える微生物資材「菌力アップ」とアミノ酸液肥「糖力アップ」の使用を勧めています。

サンビオティックをはじめると、まず新葉がピンッと立って、テリのある勢いの良い葉が一斉に展開してきます。これがし玉傾向の美味しいピワができる秘密。根が変わり、葉が変わるから、ピワが変わる。

茂木ピワを追い越せ！桜島ピワもこれから変わるぞ！



大きい！し玉だ！



葉が立って理想的な生育



地表を突き破ってび出てきた根！

● これぞ果実の王様！サンビオティック栽培のデコボンがとびきりうまい！

サンビオ栽培試験区



対象区(一般栽培)



デコボンが食べごろになってきましたね。鹿児島県で無加温ハウスデコボンで公的な試験としてサンビオティック栽培と一般栽培の比較を行っています。調査の目的は、糖度や酸度の変化、玉伸びなどのデータを取るためです。すでに収穫を終え、あとは出荷を待つばかりです。

いくつか試験区のデコボンももらってきたので会社の人みんなで食べてみました。なんとサンビオティックデコボンの美味しいこと！これぞデコボン！という美味しさでした。さすが、果実の王様ですね。内袋が食べやすく、ジューシーさ、甘み・コクが最高です！試しに糖度を計ってみるとなんと17.5度！？すご～い！！と一齐に歓声があがりました。普通はデコボンは13～15度ですから17.5度はすごいです。



対象区ももらってきたので、食べてみるとさすがにサンビオデコボンを食べたあとだと、美味しく感じませんね。糖度を計ってみると15.7度。これも普通に比べると高いですね！このデコボンを栽培された農家さんは、技術がかなり高いようです。大きさも形も立派です。手にずっしりと重く貫禄がありました。公式な試験データは、また後日出ると思いますので、出たら皆様にもご報告しますね。

● 美しい自然を守ろう！サンビオティック技術で水質浄化・環境浄化対策を！！



近年、微生物による環境浄化技術が注目されています。専門用語ではバイオレメディエーション（生物による環境修復）といえます。地球上には様々な特殊能力を持った微生物がいますから、それを培養し利用する方法です。**安くて安全な環境に優しい技術**として注目されています。たとえばタンカー事故で海に漏出した重油を微生物でクリーンにしたり、水銀を分離する微生物で土壤汚染を改善したりする技術です。

サンビオティックでは微生物利用の一環として、農家がハウス内の畑に重油を漏らしてしまった事故や、ラウンドアップ（除草剤）を誤って灌水してしまった事故を、微生物の力を利用して、短期間に分解し助けてきた実績があります。

私たちはこれを出発点に、河川やため池などの**水質浄化対策**、畜産現場の**臭気公害防止**、**し尿処理・堆肥化**、その他**土壤汚染対策**などに対する環境浄化事業に本格的に取り組み始めました。環境のことで何かお困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください！



編集者より 巻末ご挨拶



サンビオティックデコボンの味にはびっくりしましたね！さあ、次はサンビオティックな桜島ビワが楽しみです！さあ、春はもうすぐです。桜の季節が待ち遠しいですが、農家の方はその前にひと仕事です。春や夏に向けて、サンビオティックで土作りをがんばっていきましょう！